

校報 あずまね

文責：紫波町立紫波第三中学校 校長 角谷 隆章

2024年4月8日（月）

～伝え合い 響き合い 高め合う～

紫波町立紫波第三中学校 学校だより No.1

【2024（令和6）年度が始まりました！！】

おかげさまをもちまして、先週の金曜日(4/5)に、着任式と始業式、そして入学式が行われ、紫波町立紫波第三中学校の新年度が、無事スタートしました。

38人が卒業し、38人が入学しました。全校の生徒数は昨年度と同じ116人です。教職員はすべてあわせて21人ですので、総計137人での船出となります。どんな航海になるのか……。波穏やかな日もあることでしょう。波高く、荒れる日もあることでしょう。しかしながら、どんなときでも、一人ひとりがよく考え、必要な時には相談・協議し、協力して行動していけば、この航海を終える1年後には、きっと全員に大きな喜びが待っていると、私は固く信じています。本校の生徒は必ずできます。1年後、紫波第三中学校の生徒全員が大きく成長し、充実感に満ち溢れていることを楽しみにしています。

我々教職員は、一丸となって、生徒一人ひとりの成長のため、鋭意、教育活動に取り組んで参ります。保護者や地域の方々におかれましては、今年度も引き続き、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただくよう、心からお願い申し上げます。

【始業式 式辞】

春休みが明け、今日から2024（令和6）年度が始まりました。みなさん知っているように1月には能登地方で大きな地震がありました。今も多くの方が避難を余儀なくされています。また、世界に目を向けると、依然として紛争が絶えず、苦しい生活を強いられている人も数多くいます。そんな中、紫波第三中学校は、今日、こうして無事に新しい年度の始業式を迎えることができました。これはとても嬉しいことですし、ありがたいことです。まずはみんな喜び合いたいと思います。

3月に3年生が卒業し、とても寂しい気持ちになったと思いますが、その3年生は4月からそれぞれ、自分で決めた新しい道に進みます。そして、みなさんも、この4月に一つ進級し、今、ここにいるわけです。きっと、「この1年をいい1年にするぞ！ 頑張るぞ！」という熱い気持ちをもっていると思いますが、是非、この気持ちを大切にしてください。

3年生。3年生は学校の顔です。この1年、最高学年としても、受験生としても、多くの貴重な経験することになります。一生に一度の中学校3年生の生活です。喜怒哀楽、すべてを力にし、ぜひ思う存分、この1年を謳歌し、心身ともにたくましく成長してほしい。心からそう願います。

2年生。2年生は中堅学年です。クラス替えもありました。新たな気持ちで、仲間と協力し、1年生を優しい気持ちで迎え入れ、3年生を支えてください。1年後、最高学年になる力をしっかりつけてほしい。心からそう願います。

いい1年にするためには、新学期の今、自分の目標をもつことが大切です。どんなことでもいいです。この1

年間で、どんな力をつけたいのか、何を頑張るのか、自分の目標を自分自身で決めてください。そして、その目標を達成するために、日々、努力を積み重ねていってください。まずは自分でよく考えて動くこと。受け身の姿勢ばかりでは、変化の激しいこれからの社会を生きていくことは難しくなります。君たちならできます。1年間、様子をみてきた私が言うのですから、間違いありません。問題が起きても話し合い、どうするのがよいかを考え、解決し、乗り越えることができます。もちろん先生方はアドバイスをします。困ったり、行き詰ったりしたら、遠慮せず相談してください。1年後、全員が「満足できるいい年だった」と堂々と言えるくらい成長していることを私は心から期待しています。

今日の午後、新1年生を優しい気持ちであたたかく迎え入れることをお願いし、みなさんのこれからの活躍を期待して、私の始業式の話を終わります。

【入学式 式辞】

～前略～ さて、38名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。お家の方々をはじめ、今日、ここにいるすべての方々が、皆さんが入学するのをとても楽しみに待っていました。

みなさんは3月に小学校を卒業しました。私は、西の杜小学校の卒業式に参加しましたが、その姿をみて、とてもワクワクした気持ちで今日を迎えています。それは、一人ひとりが真剣に、そして、これからの決意をもって臨む姿がヒシヒシと伝わってきたからです。きっと、他の小学校から入学する人も同じだと確信しています。それは、今のみなさんの姿をみれば、よくわかります。全員が「中学校生活を充実したものにしたい！」という輝いた目をしています。この気持ちを大切にしてほしい。心からそう願います。

さて、私が中学校生活で、みなさんにつけてもらいたい力はただ一点「自律」する力です。少し難しい言葉ですが、中学校生活は「人間が社会の中でよりよく生きていくことができる力を身につける」3年間です。自分だけではなく、どうすれば、まわりにいるすべての仲間が充実した学校生活を送り、生きていくために必要な力をつけることができるようになるのかを、一人ひとりがよく考えて行動してください。これが自律する力をつけるということです。また、集団生活ですから、様々な問題が生じます。一般社会でもこれは当たり前起きることです。でも、そんなときどうすればいいのかを自分たちで考え、話し合い、解決できるように努力してください。これが自律する力をつけるということです。先生方は、あなたたちの支援をします。相談したいことがあればいつでも遠慮なく話してください。ヒントやアドバイスがもらえるはずですよ。

さて、中学校では、部活動や生徒会活動など、小学校と違うことがたくさん出てきますが、今話したように、まずは、自分自身で考え、誠実に行動してみてください。そのような姿勢で生活を送ることが必ず自分の成長につながります。もちろん、先に述べた先生方だけではなく、特にこのような分野で困ったことがあったら、3年生・2年生の先輩が優しく教えてくれます。遠慮なく聞いてください。真剣に勉強し、楽しく活動し、自律する力を今より一層身につけている自分を目指して生活して下さい。

今年度の紫波第三中学校は、今日、全校生徒116人でスタートしました。まずはこの1年、新入生の皆さんを含めて、紫波第三中学校の生徒一人一人が、「よかったなあ」、「頑張ったなあ」という気持ちをたくさんもてるような学校生活を送っていくことを大いに期待しています。

保護者の皆様に申し上げます。お子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校への入学は人生の中でも大きな節目の一つであり、お慶びもひとしおのことと存じます。本日より、義務教育最後の3年間にあたる中学校生活が始まりました。紫波西学園の教育目標は「自ら未来を切り拓いていく人間の育成」、本校の教育目標は「主体的に学ぶ生徒・奉仕

の心を持つ生徒・健康で活力ある生徒」です。これらの実現を目指し、私ども教職員は生徒一人一人との触れ合いを大切に、保護者の皆様、地域の皆様と連携して、日々の教育実践に精一杯取り組んで参ります。皆様には、どうぞ、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして、お子様の健やかな成長を支えてくださいますようお願い申し上げます。

結びに、ご来賓の皆様、保護者の皆様をはじめ、関係するすべての方々には、今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、式辞といたします。

【新年度初日のスナップ写真】



着任式。7名の先生方が着任しました。



クラス発表。何組かなあ～



始業式生徒代表の言葉は生内果穂さん



新入生歓迎の言葉は青山ひなたさん



新入生歓迎の歌は「大地讃頌」。美しい歌声でした。



新入生誓いの言葉は、川村亜凜さん

【今年度の本校教職員です】

職名	氏名	教科	担当学年等	部顧問等
校長	角谷隆章			
副校長	西村蘭子			
教諭	川村美智子	英語1年	1A担任 1学年主任	剣道
教諭	沢館悠希	保体全学年	1B担任 生徒指導主事	軟式野球 特設陸上
講師	三浦麻美	数学1年	1年副担任	総合文化
教諭	石積康弘	英語2, 3年	2学年主任 研究主任	卓球女子
教諭	佐藤綾香	数学2, 3年	2A担任	卓球男子
講師	田村千明	国語1, 2年	2B担任	バスケットボール男子
教諭	塩井貴子	理科全学年	3学年主任 進路指導主事	バスケットボール男子
教諭	中川和哉	社会全学年	3A担任	バレーボール女子
教諭	佐藤久美子	音楽全学年	あずまね学級担任	総合文化 特設合唱
教諭	添田貴子	国語3年	教務主任 学年外	バスケットボール女子
養護教諭	菊地千里		保健主事 学年外	
主事	高橋恋果		学年外	
用務員	藤原公二		学年外	
非常勤	吉田拓人	技術		
非常勤	佐藤忍	美術		
非常勤	本庄詩乃	家庭		
A L T	ロバート・ ジョーンズ			
S C	八重畑里満			
非常勤	山崎理恵			スクールヘルパー 適応支援相談
非常勤	石川那月			図書アシスタント

今年度、新たに着任した教職員は次の7名です。どうぞよろしくお願いいたします。

副校長	西村蘭子	紫波町立紫波第二中学校	副校長	から
教諭	添田貴子	盛岡市立見前中学校	教諭	から
教諭	川村美智子	盛岡市立見前中学校	教諭	から
教諭	佐藤綾香	盛岡市立見前南中学校	教諭	から
講師	田村千明	盛岡市立見前中学校	講師	から
用務員	藤原公二	紫波町立紫波第一中学校	用務員	から
支援員	山崎理恵	紫波町立紫波第一中学校	支援員	から